

ヤマハサウンドシステム、横浜へ 新天地で育む発想と技術

レポート：編集部



JR横浜駅を海側に出て、ビルからビルへと近未来的な「ペDESTリアン・デッキ」を歩くこと約8分。横浜高速鉄道みなとみらい線ならば横浜から一つ目、「新高島駅」のほぼ真上に、今年(2024年)5月オープンしたのが横浜シンフォステージ。名前からも察せられるように、ヤマハ株式会社が京浜急行電鉄株式会社など4社と共同開発した複合施設である。

イースト(16階建て)、ウエスト(30階建て)の2つのタワーのうち、ウエストタワー7階に移転して来たのが、ホール・劇場の音響設備の設計・施工やメンテナンス業務を行う、おなじみのヤマハサウンドシステム株式会社である。

ようやく秋めいて来た3連休明けの10月15日(火)、その新しい本社を訪れ、平井智勇代表取締役社長、榎本栄二取締役、浅原康二マーケティング部部長の3氏から話をうかがった。

□これまでヤマハサウンドシステム株式会社（以下、ヤマハSS）の本社があった日本橋箱崎町や蛸殻町の社屋ビルでは、フロア毎に部署や使われ方が分かれていたが、ここでは、一部を除きすべてがワンフロアに収まっている。もっとも、ウエストタワーは広大で、ヤマハSSが入ったとはいえ、ワンフロアの半分程度だそうである。

横に広がっただけではなく、設計思想なのか柱や壁を極力使わないオフィスのため、お互いの様子や顔がよく見え、明らかに人と人の連携、コミュニケーションは取りやすくなったと言う。

ヤマハSSだけでなく、ヤマハ株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス、株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズという、首都圏の各所に散らばっていた系列会社を1ヶ所に集めたのは、ヤマハグループの連絡や連携を取りやすくし、シナジー効果を生むことが目的の1つだった。

5階にはヤマハグループで共用している食事・休憩のためのスペースがあるのだが、垣根となる壁などがまったくないことがその目



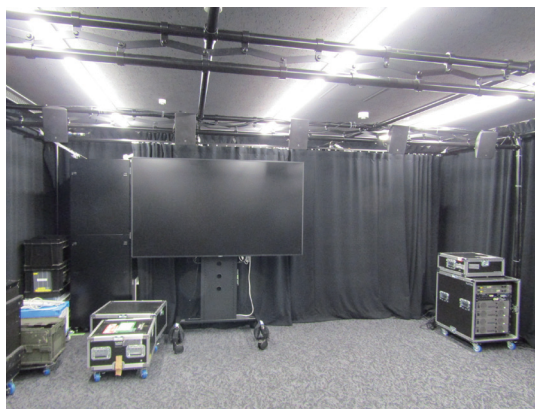
広大な食事・休憩のためのスペース

的を象徴しているように思えた。

ヤマハSSは、移転前、蛸殻町にあった事業所に工房を持ち、各製品やシステムの開発、保守、試験などを行っていた。それらの施設ももちろん受け継がれており、外部からしっかりと区画され、遮音され、認証工場の認定を受けた工房&デモルームが備えられていた。

ヤマハSSが移転、入居したのは9月。うかがったときはまだ1ヶ月目ということもあって、工房内の機器のセッティングはこれからだったが、ヤマハのイマーシブオーディオソリューション「AFC」用に多くのスピーカが既に天井にセットされ、いつでも稼働OKとなっていた。

となりににはヤマハミュージックジャパンの



稼働を待つYSSデモルーム



Y-DACC内のDM7と、DM7 Control (右端)

工房Y-DACCもあり、こちらでは既にイベントへ向けたデータの打込みが行われていた。

〇沿革

本社の移転により、ヤマハSSの歴史に大きな「句点」が付けられたわけだが、振り返ると今年2024年は、ヤマハSSが生まれてから15年目の節目に当たる。当時の**ヤマハサウンドテック株式会社**と**不二音響株式会社**とが合併したのが2009年なのである。

その頃は、バブル期に計画されたホール・劇場の建設がひと段落した時期かと思うが、同時に、音響設備の設計・施工管理をする大手の会社も軒並み手を引くという後退期に入っていた。

象徴的な出来事の一つが、ヤマハサウンドテックと不二音響の合併ということになるわけだが、現在の音響設備の設計・施工やメンテナンス業務の受注についてどうお考えかがかってみた。

よい点としては、さまざまな工事に携わる

ことで経験値が上がったことにより、一貫して高い品質のサービスとノウハウを提供できていることを挙げられた。

問題点としては、技術員が足りなくなってきたと言う。ある規模以上の工事案件では監理技術者の資格を持つ社員を専任で工事現場に充てることが求められる、すなわち案件の数だけ資格をもつ社員が必要となる。これに応えるべく、教育環境づくりを強化していることを挙げられた。

資格については、適切な新人教育を行うことである程度はまかなえるのかもしれない。ただ、施工管理する現場代理人には、個性的な作業員を束ねるリーダーシップや円満な人間性なども求められる。それらは言葉では教えられないものだけに、難しい面はあるだろう。

“人と人とが直接触れ合う機会が少ない中で育ったせいなのか、コミュニケーション能力不全の傾向”や“人に自分の考えを伝えるという基本的な力が弱い”という世代も多くなっている中、ヤマハSSでは、ワンフロア

| | 不二音響株式会社 | ヤマハサウンドテック株式会社 |
|-------------------|--|---------------------------|
| 1946年(昭21) 1月22日 | 不二音響工業株式会社 設立 | |
| 1952年(昭27) | 「不二音響テレビジョン株式会社」に社名変更 | |
| 1962年(昭37) 10月10日 | | 三精音響設備株式会社 設立 |
| 1965年(昭40) | 「不二音響株式会社」に社名変更 | |
| 1967年(昭42) | | 「株式会社三精エンジニアリング」に社名変更 |
| 1976年(昭51) | | 「株式会社サンセイエンジニアリング」に社名変更 |
| 1980年(昭55) | | ヤマハ株式会社(旧日本楽器製造株式会社)と業務提携 |
| 1988年(昭63) | | 「ヤマハサウンドテック株式会社」に社名変更 |
| 2007年(平19) | 株主が株式会社麻生よりヤマハ株式会社に変更 | |
| 2009年(平21) 4月1日 | 旧不二音響株式会社、旧ヤマハサウンドテック株式会社 2社の合併によりヤマハサウンドシステム株式会社 設立 ISO 9001:2008を取得 | |
| 2011年(平22) | 練馬事業所を蛸殻町事業所に統合 | |
| 2013年(平25) | 名古屋営業所、福岡営業所移転 | |
| 2018年(平30) | 名古屋営業所移転 | |
| 2024年(令6) | 本社・蛸殻町事業所を本社事業所に統合、東京営業所を首都圏営業所と改称し移転 | |



巨大ビジョンと散りばめられた楽器

で横の連絡が取りやすくなった環境でぜひその力を培ってほしいと思う。加えて、施工実績・経験を数多く持つヤマハSSであれば、ベテランが直接、若い人に指導する機会にはこと欠かないはずなので、先輩の一挙手一投足に注目し、学んで頂きたい。

ヤマハSSには、仕事柄、建築や電気工学といった理系の新人が多いものの、音楽好き、バンド、音好きの文系を専攻した若者も入社し、現場でバリバリ活躍していると言う。この横浜シンフォステージのある「**みなとみらい21中央地区**」は、多種多様な人びとに出会いの場を提供し、“みらい”へ向けての価値の創造を目指す場として企図されている。その

地から、どのような新しい発想や技術、人材が飛び出すのだろうか。

楽しみに待ちたい。

□ウエストタワー 1～2階には、体験型のブランドショップがオープンした。

吹き抜けの空間「**Music Canvas**」では、壁一杯の大型ビジョンを使い、『**Music Canvas Show**』として気鋭の映像クリエイターやサウンドアーティストらによる5分ほどの作品を毎時上映している。驚くのは、ホールに置いてあるピアノ、ベース、ドラムス、そして山型の特製ソファに散りばめられたバイオリンやビオラ、チェロといった弦楽器たちが、

音楽に合わせて自動で生演奏を聞かせることができること。どういうことかと言うと、弦楽器の駒に直に取付けた加振器が弦やボディに振動を伝え、演奏音を発生させるのである。



「Music Canvas」正面に置かれたドラムス



シンバルに取付けられた加振器

録音された音をただ流すのではない、あくまでも楽器に演奏させるというコンセプトは、世界最大の楽器製造会社としての矜持というか、プライドを示すものであるし、それ以前に技術力がすごい。これらの楽器には、振動を感じるために指を当てたり、肩に乗せたり、構えてみたりという人たちが引きも切らない。

しかも「Music Canvas」には「AFC」が備えられ、360°のサラウンド音響と、個々の楽器からの音を一緒に楽しめるのである。



「Music Canvas」背後のリアスピーカー5台



内蔵されているのはNEXO

□ 1階フロアにはほかに、ヤマハグランドピアノショールームとベーゼンドルファーショールームがある。2階フロアは各楽器が一堂に展示されており、壮観である。ここでもいくつかのコーナーで楽器を手に取り、演奏することができる。



楽器エリア



楽器体感コーナーでギターを弾く平井社長

潇洒ながら広々としたカフェも備えられており、やはりAFC用のマイクとスピーカが天

井にセットされていたのは、ライブなどのイベントの会場ともなるからということだった。

近くには高層マンションや神奈川大学のキャンパスもあり、多くの人たちが行き交っている。多種多様な人びとが会うというみなとみらい21のコンセプトを、音楽を通して目に見える形で体現する場として、ここにも多くの人たちが訪れることを願う。ヤマハの発想力とそれを実現する技術力に圧倒されることは間違いのないのだから。



カフェ奥のイベントスペース



AFC用のマイクとスピーカが備えられている